

取組概要

明治小学校では、「ふるさとを愛し、豊かな心と学ぶ意欲をもち、自ら『気づき・考え・行動できる』たくましい子どもの育成」を目指し、地域協育コーディネーター、弥生振興局等関係機関との連携を図り体験活動を充実させるとともに、児童会を中心としたあいさつ運動・体力向上・環境美化・読書活動等を推進している。

工夫・ポイント

【学校マネジメントの工夫】

- ◆各種調査に基づく児童の実態、児童・学校評価アンケート、授業観察等の日常的な把握等による客観的なデータを基に、全教職員で「学校評価の4点セット」の見直しを行い、取組内容等の共有を図っている。
- ◆弥生地区協育コーディネーター、弥生振興局等関係機関との連携を図り、地域密着型の体験活動を充実させている。

特徴的な活動

- ◆児童会を中心とした挨拶運動、体力向上に向けた取組、環境美化、読書活動等の取組を充実させている。
- ◆単元構想に基づき、資質・能力の3つの柱がバランスよく育成されるよう、授業者が「単元づくりのための自己チェック表」を記入したり、体験活動と関連付けた「子どもが自分の思いや考えを表現したくなる」学習活動を進めている。

関係者の声

- ◆児童の認識と教師の見取りにズレが生じやすい指標、例えば「自分の思いや考えを伝える」指標は、教師の見取りを検証・改善の視点として位置付けることも考えられる。
- ◆児童会を中心とした日常の取組を、今後も一層推進してほしい。

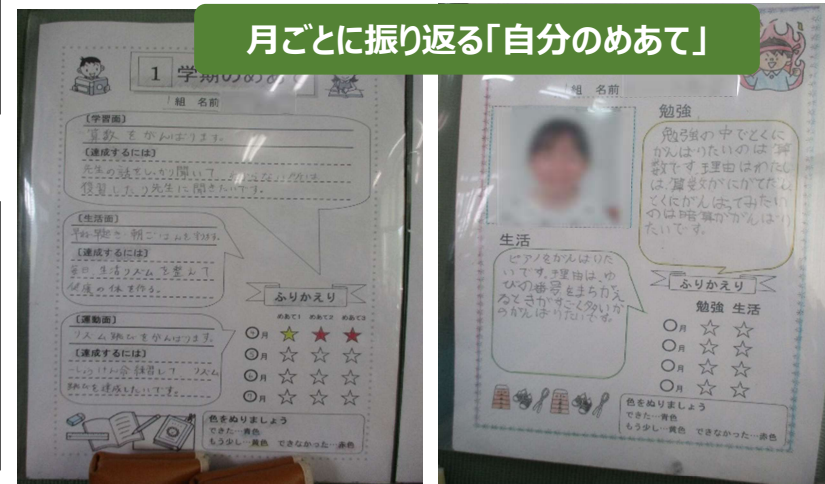
学校の教育目標を具体化した学級目標



児童会活動の充実



月ごとに振り返る「自分のめあて」



学習ノートを紹介

